

## 210320 宮城県沖 M7.2 (M6.9 に訂正) の地震について

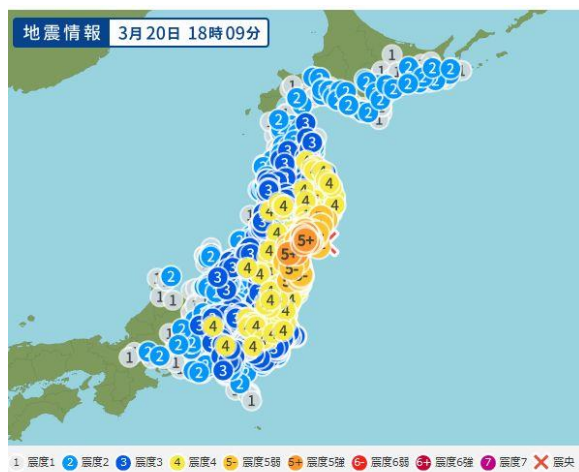
3月20日の夕方18時すぎに、宮城県沖 M6.9 (当初 M7.2 を修正) の地震が発生し、東北の沿岸などに津波注意報が出て、多くの被害がありました。この地震は地震の規模や震源などから2月13日の福島県沖 M7.3 の最大の余震と考えられます。

通常大地震のあとの余震の場合は本震で生じたひずみの解消という動きから事前に電磁波ノイズは出にくいと考えられていて、今回残念ながら ゆれくるん=逆ラジオのデータにはこの規模の地震の発生は予知できませんでした。

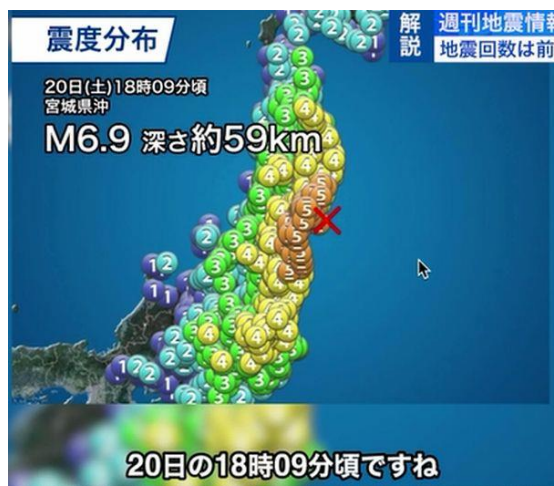
また東北地方は6県に及ぶ範囲ですが 逆ラジオの観測点がまだ9か所しか無く、停止中の観測点もあることから今後、観測点の増強が急務と考えています。

以下にはそうした事情の上で、過去2回の逆ラジオ通信の内容と、いくつかの観測点の収束傾向を載せています。本震 M7.3 の余震と考えても いくつかのデータには多少の変化が見られます。ご参考にしてください。

地震発生>210320 宮城県沖 M7.2 (M6.9 に訂正)



発生時刻	2021年3月20日 18時09分ごろ
震源地	宮城県沖 (社歴半島の北東20km付近)
最大震度	5強
マグニチュード	7.2
深さ	60km



>前々回 3月10日の逆ラジオ通信より

★★逆ラジオ通信★★ No.07W-210310 日号 《21.3.10 配信》

東北地方では 福島県沖はいまだに群発地震が続いており M4.0 前後の地震が 10 回以上多発しています。相変わらず「2/13 福島県沖 M7.3」の余震が多く発生していると考えられ、しばらくは余震に注意が必要と思われます。

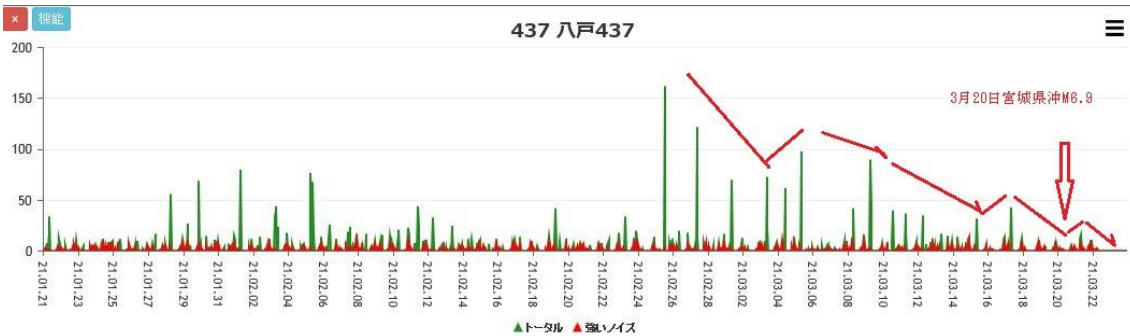
また、本震が M7.3 だったことから M7 前後の最大級の余震が起きる可能性があると言われております。その点からも、もうしばらくは十分な注意をしてください。

>前回 3月17日の逆ラジオ通信より

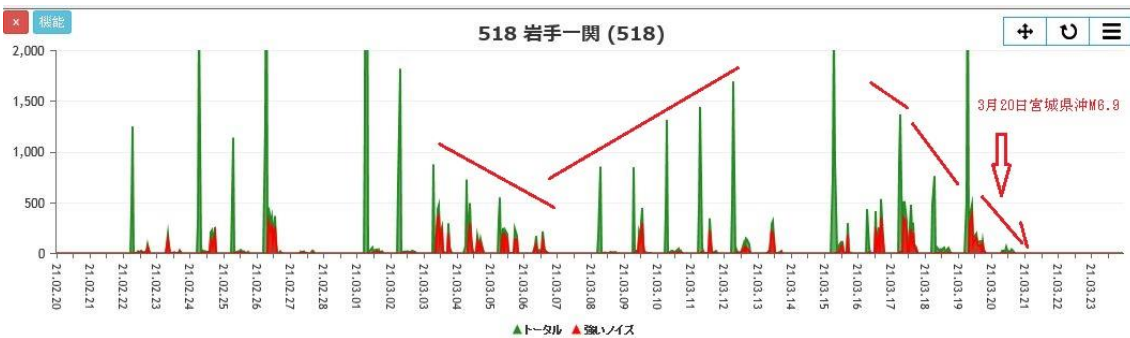
★★逆ラジオ通信★★ No.07W-210317 日号 《21.3.17 配信》

※東北から関東の沖合にかけて中規模の地震が多発しており 福島沖M7.3 の余震も続いておりますので 引き続き警戒を続けた方が良いと思われます。

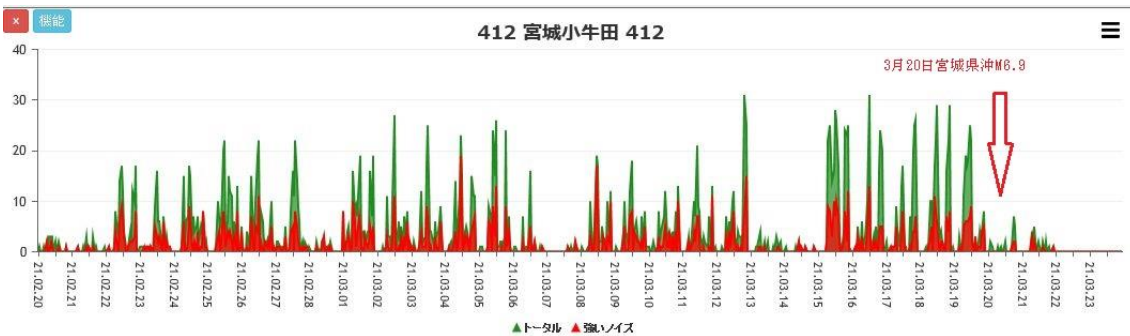
八戸 30日間データ



岩手 一関 60日間データ



宮城 小牛田 30日間データ



# 練馬 30日間データ



# 練馬 30日間 (拡大) データ

